

『年報』への投稿について

※2016年より論文投稿規定に変更がありますので、ご注意ください。

論文投稿規定

- (1) 論文は日本語，英語いずれも可（英文の場合は事前にネイティブ・スピーカーによるチェックを受けてください）。
- (2) 論文の長さは，原則として，日本語の場合は18,000 字(400 字詰原稿用紙換算45 枚)以内，英語の場合は7,000 語以内とします。
- (3) 論文原稿の締切は6 月10 日（必着）．編集担当理事の審査（採・否・再提出）をへて受理・掲載します。
- (4) 論文原稿は，原則として電子メールにより添付ファイルとして，副支部長宛に提出してください。（アドレスは日本支部ウェブサイトにあります。）
電子メールが利用できない場合には，清書原稿 3 部（コピー）を副支部長宛送付してください。

論文の書式について

- (1) 書式の細部については，原則として，*MHRA Style Guide* (<http://www.mhr.org.uk/Publications/Books/StyleGuide/download.shtml>)，または*MLA Handbook* の第6 版 (<http://www.mla.org/style>) に従ってください。最終的な書式形式は編集で統一します。
- (2) 註については，脚註ではなく，尾註を用いて下さい。
- (3) 文献表については，引用した文献を，論文の末尾に付けて下さい。
- (4) 日本語論文で欧米人名を「サッカレー」などと日本語表記する場合には「サッカレー(William Makepeace Thackeray)」とカッコ内に原語を表記してください。
- (5) ディケンズの著作・登場人物名については，日本語表記する場合でも，原語を示す必要はありません。示す場合は，上記 (4) に従って一貫して表記してください。
- (6) 数字については原則としてアラビア数字としてください。（例：「一九世紀→19 世紀」，「一八一二年→1812 年」．ただし，「一人や二人」や「一度や二度」などは例外とします。）章分けにはローマ数字を用いることができます。

論文以外の書評，国際学会報告等

- (1) 締切は 8 月 10 日です。原則として電子メールにより，添付ファイルを副支部長宛に送付してください。電子メールが利用できない場合は，清書原稿 1 部を送付してください。
- (2) 書式については，論文とは異なり，原則として著者の自由です。ただし，数字表記については論文と同様アラビア数字とします。
- (3) 長さは，書評6,000 字（原稿用紙換算 15 枚）以内，国際学会報告4,000字（原稿用紙換算 10 枚）以内。国際学会報告の写真の添付は 4 枚以内とします。写真は可能な限りデジタル・データをご提供ください。
- (4) 編集上の都合により採用できない場合もあります。また，編集担当者の責任で内容を大幅に編集する場合があります。あらかじめご了承ください。

※論文・一般記事等を問わず，すべての原稿に「英文タイトル」と「著者名のローマ字表記」を必ず付記してください。

※＜原稿の文字カウントについて＞ウィンドウズの場合は、「校閲」メニューの「文字カウント」で，また，マックの場合は，「ツール」メニューの「文字カウント」で，注や参考文献を含めて，投稿規定で定められた長さに収まっていることを，必ず確認して下さい。英語の場合は「単語数」，日本文の場合「文字数（スペースを含めない）」です。